

製品名: MCAD ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13701**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	ACADM
別名	ACADM; Medium-chain specific acyl-CoA dehydrogenase, mitochondrial; MCAD
遺伝子 ID	34.0
SwissProt ID	P11310
免疫原	抗血清はヒト MCAD 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 134-183

背景

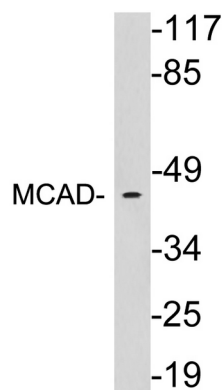
この遺伝子は、中鎖アシル CoA 脱水素酵素 (C4~C12 直鎖) をコードします。このホモテトラマー酵素は、ミトコンドリア脂肪酸 β 酸化経路の初期段階を触媒します。この遺伝子の欠損は、中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症を引き起こします。この疾患は肝機能障

害、空腹時低血糖、および脳症を特徴とし、乳児死亡に至る可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: アシル CoA + 受容体 = 2,3-デヒドロアシル CoA + 還元受容体。、補因子: FAD。、疾患: ACADM の欠損は、中鎖アシル CoA 脱水素酵素欠損症 (MCAD 欠損症) の原因である [MIM:201450]。これは常染色体劣性遺伝疾患であり、空腹時低血糖、肝機能障害、脳症を引き起こし、多くの場合、乳児期に死亡に至る。発症頻度は 13000 人に 1 人である。機能: この酵素は、4~16 のアシル鎖長に特異的である。、その他: 哺乳類組織には、基質特異性の異なる直鎖アシル CoA 脱水素酵素が多数存在する。、その他: 電子伝達フラビンタンパク質 (ETF) を電子受容体として利用し、ETF-ユビキノン酸化還元酵素 (ETF 脱水素酵素) を介してミトコンドリア呼吸鎖に電子を伝達する。、経路: 脂質代謝、ミトコンドリア脂肪酸 β 酸化。、類似性: アシル CoA 脱水素酵素ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ四量体。ヘテロ二量体電子伝達フラビンタンパク質 ETF と相互作用する。、

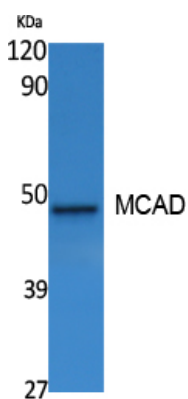
研究分野

脂肪酸代謝、バリン、ロイシンおよびイソロイシンの分解、 β -アラニン代謝、プロパノ酸代謝、PPAR、

画像データ



MCAD 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



MCAD ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。